

持続可能な魅力ある社会を

建設コンサルタンツ協会会長 野崎 秀則

近年、自然災害が頻発化・的に低下している状況です。激甚化しています。また、日そして、アフターコロナ社会本の社会・経済を支えるインの新たな働き方・暮らし方や、フラが老朽化し、その影響がSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて持続可能な社会づくりが求められています。中、日本の国際競争力が相対



このような背景の中で、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が精力的に推進されています。今後は、国際競争力を高め、

社会経済活動を支える交通インフラや国民の命と財産を守る防災インフラなどについて、予算の裏付けのある中長期計画を策定し、公共投資を安定的かつ着実に推進することが重要と考えます。

建設コンサルタンツとしては、このようなインフラ事業を通じて、多様化・複雑化する社会課題に対して、安全・安心な社会、快適・活力ある社会、魅力ある持続可能な社会の創造に向け、技術を磨き、社会に貢献してまいります。